



事業説明会

V字回復

最悪の経済状況の中での
成長への挑戦

会社紹介

ジーニーの志とミッション

創業の志

日本から
世界的なテクノロジー企業をつくる

ミッション

テクノロジーで新しい価値を創造し
クライアントの成功を共に創る

私たちはテクノロジーの可能性を信じています。

企業のマーケティング活動に、新たな価値を提供し、革新をもたらすプロダクトを創ります。

日本発のテクノロジーカンパニーとして、アジアの企業のビジネスを深く理解し、
プロダクトとサービスに反映させ、アジアの企業と共に成功を目指します。

インターネット広告に関わる「アド・プラットフォーム事業」と
デジタル・トランスフォーメーションに関わる「マーケティングソリューション事業」を展開
また、国内のプロダクトを東南アジアを中心とする海外にも展開

アド・プラット フォーム事業

インターネット広告を売買する
プラットフォームを提供



マーケティング ソリューション事業

企業のマーケティング活動を効率化
するソフトウェアを提供



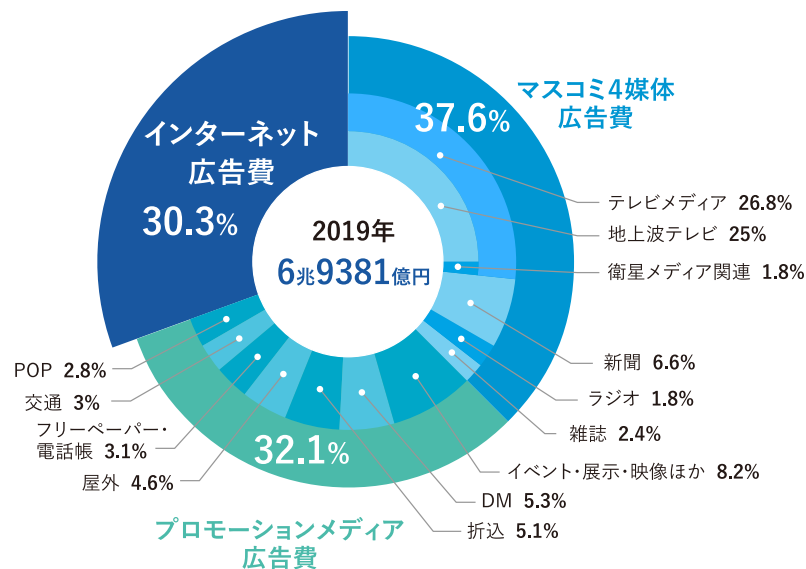
海外事業

日本発のプロダクトを海外展開

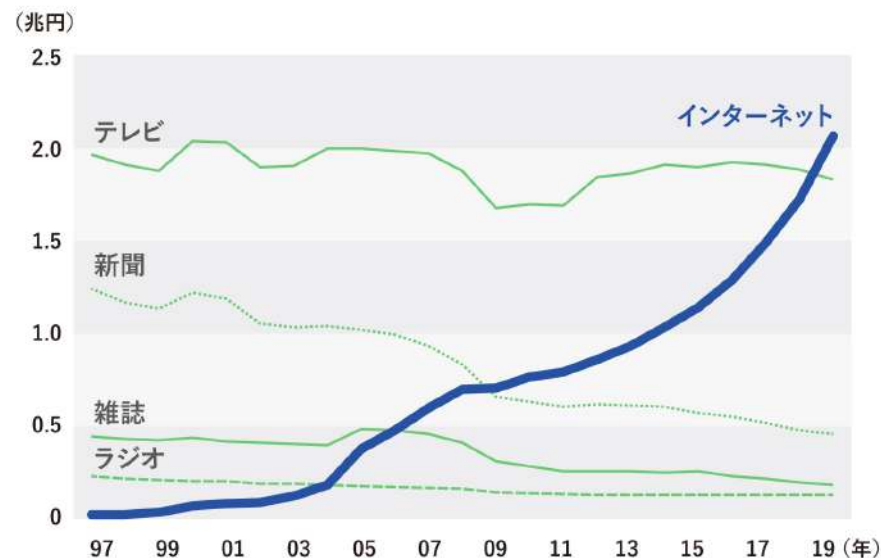


広告市場は6.9兆円。インターネット広告はその3割を占める
市場は毎年増加していて、2023年度には3兆円に迫る規模になると予測されている

媒体別構成比率

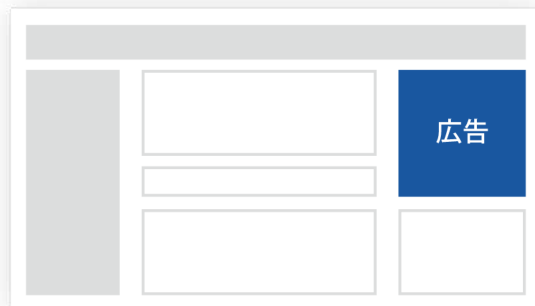


インターネット広告市場の推移



インターネット広告には、ディスプレイ広告、SNS広告、リスティング広告、ネイティブ広告、動画広告、記事広告など、様々なものがある

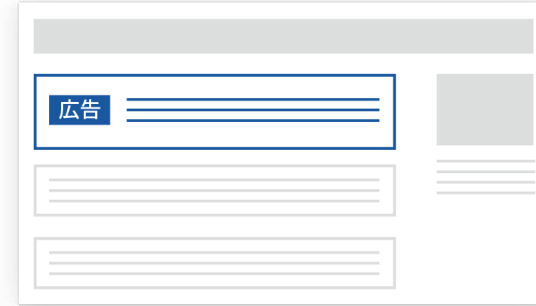
ディスプレイ広告



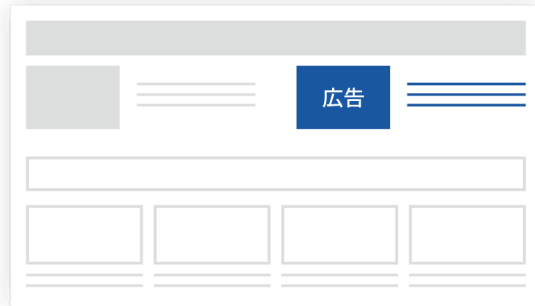
SNS広告



リスティング広告



ネイティブ広告



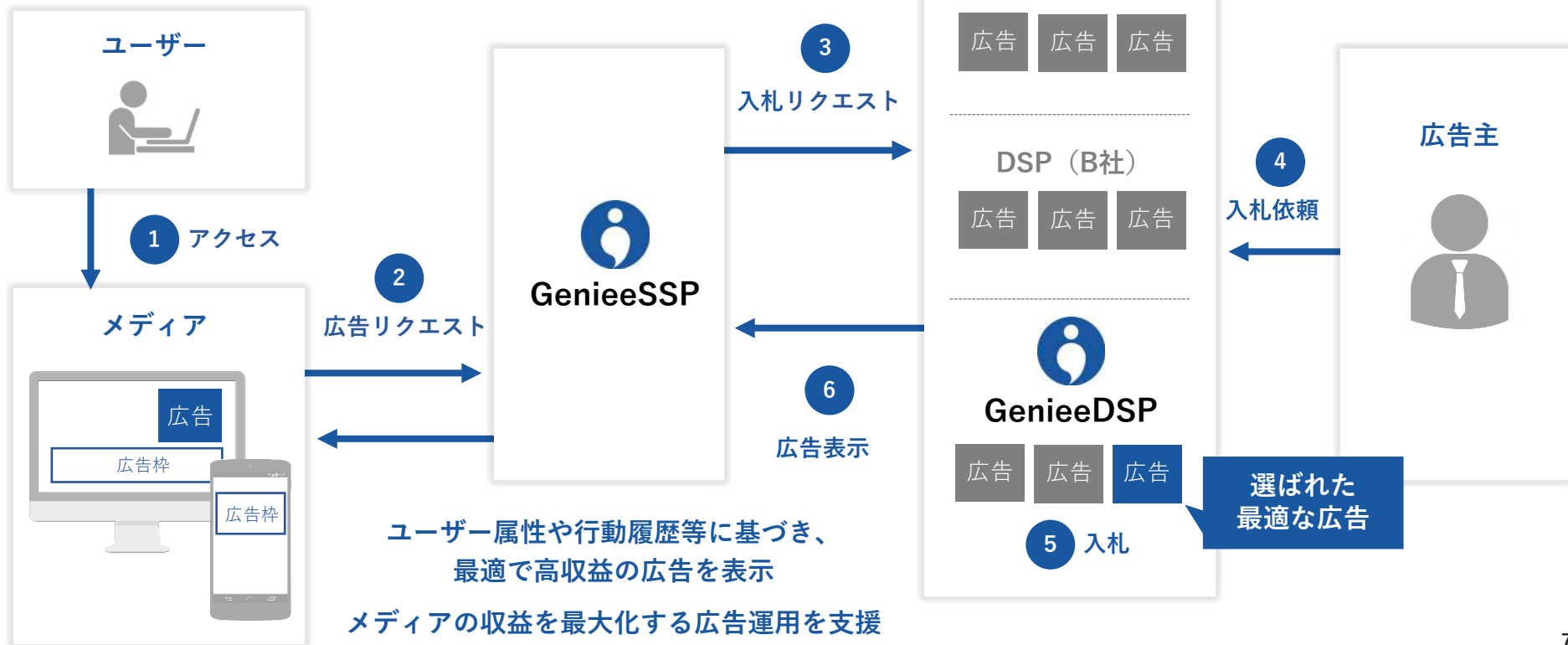
動画広告



記事広告



インターネット広告市場において、SSP、DSPなどのサービスを提供する
アド・プラットフォーム事業を展開



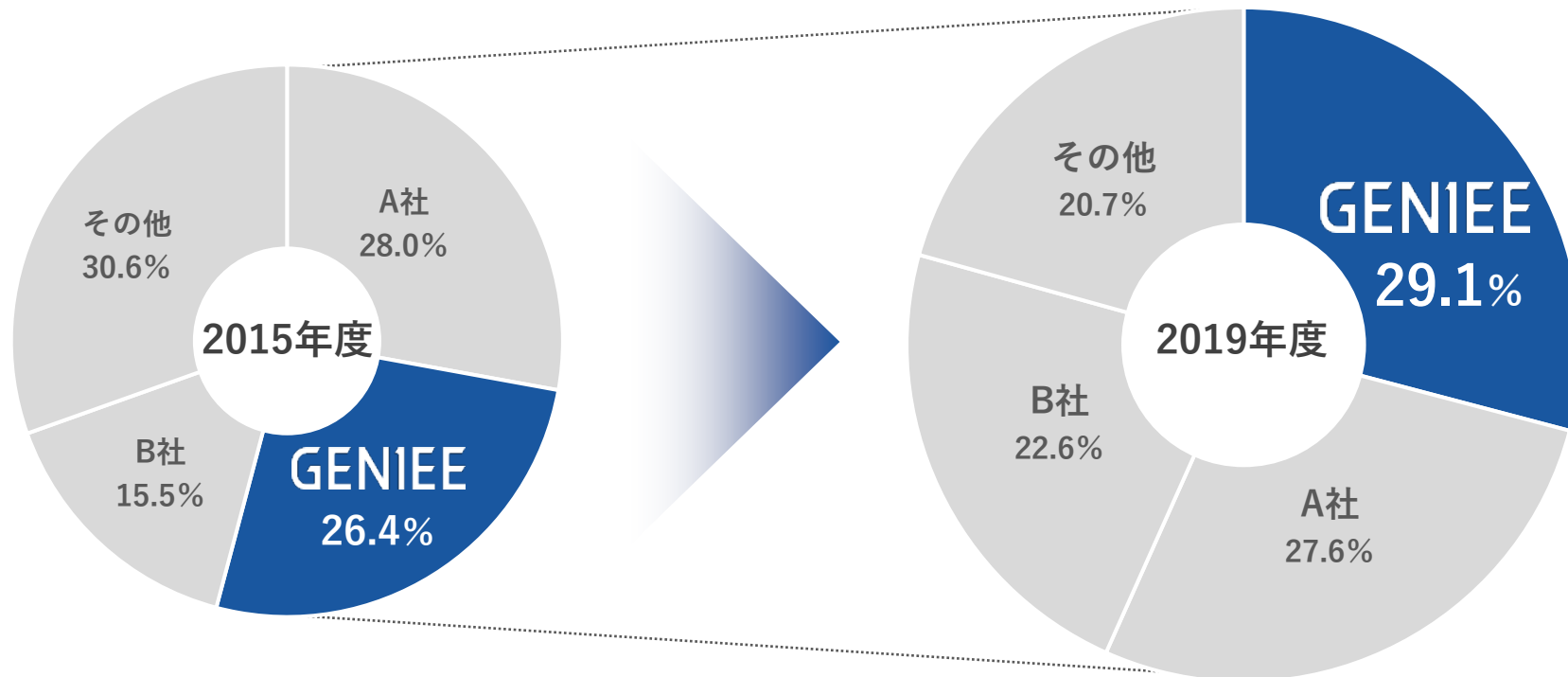
2-4. アド・プラットフォーム事業の顧客のメディア（例）

東洋経済ONLINE

Walker+

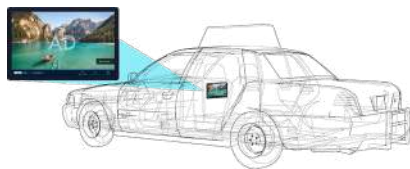
All About

SSPサービスでは、2016年度よりトップシェアを確立し、現在に至る



インターネット広告市場の新サービスとして、屋外広告や交通広告など、自宅以外の場所で接触する広告メディアにも広告を配信するサービスを展開

DeNA



19/2

Geo Nexus



19/8

Dental Assist TV



19/11

HIT Co., Ltd.
Ginza, Tokyo.



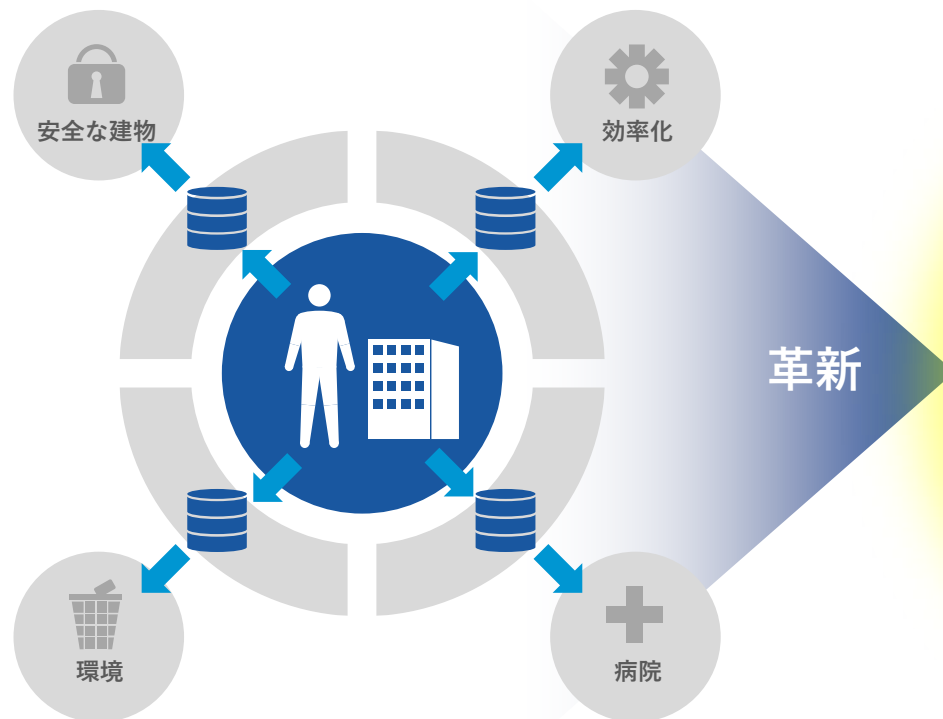
20/1

20/3

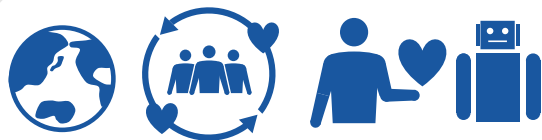
デジタル・トランスフォーメーション（DX）とは、ICTによるビジネスモデルの変革
既存の伝統的な産業は、新たなデジタルサービスに続々とリプレイスされている

現在 現実とサイバー空間が分断された世界

未来 現実とサイバー空間がシームレスにつながる世界



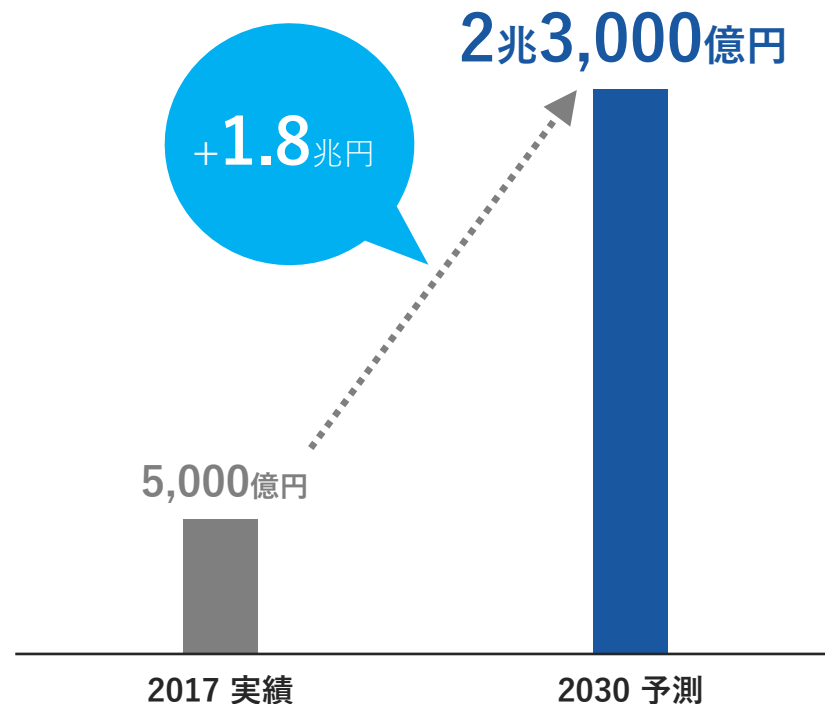
ビジネスモデルの変革や新規ビジネスの創出により市場規模は拡大
2030年には2兆3千億円超の規模へ



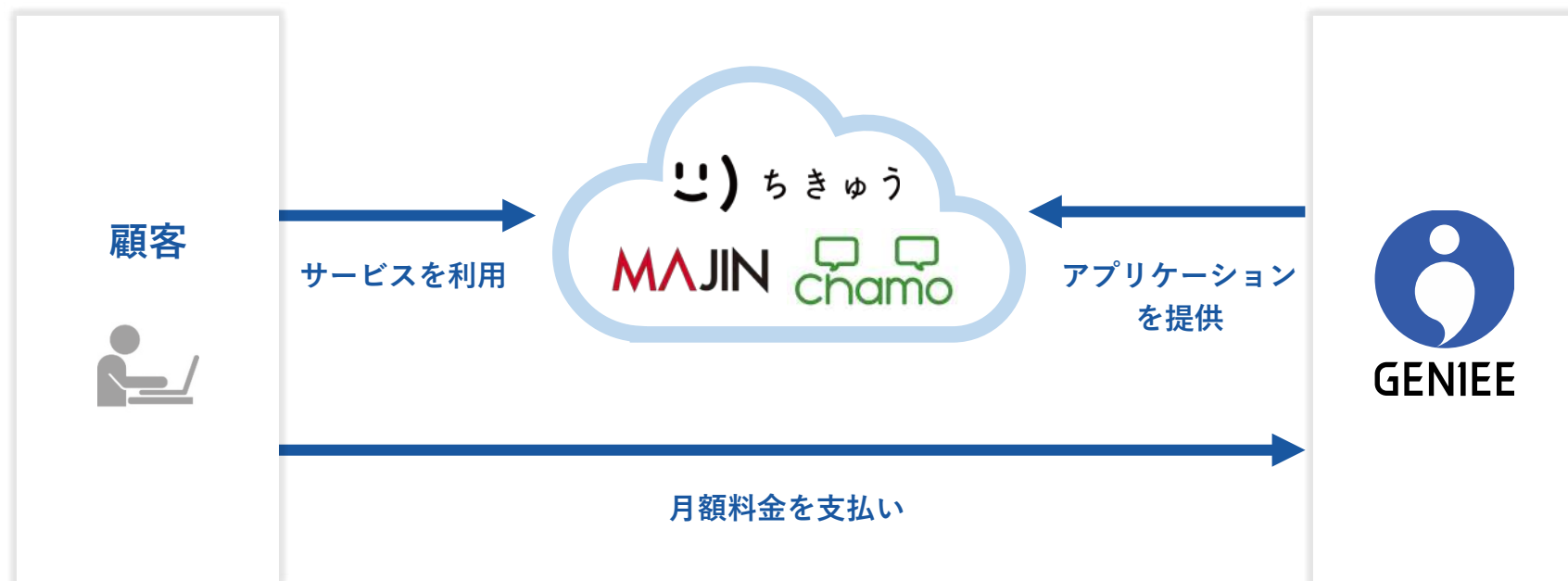
デジタル・トランス
フォーメーション市場

2030年

2兆3千億円



クラウド上でアプリケーションを提供するストック型ビジネスモデル



多数の大手企業からの導入実績



じ) ちきゅう

顧客/商談管理から分析までを
一体化したCRM/SFA



MAJIN

集客から販促まで一貫して管理/実行する
マーケティングオートメーションツール



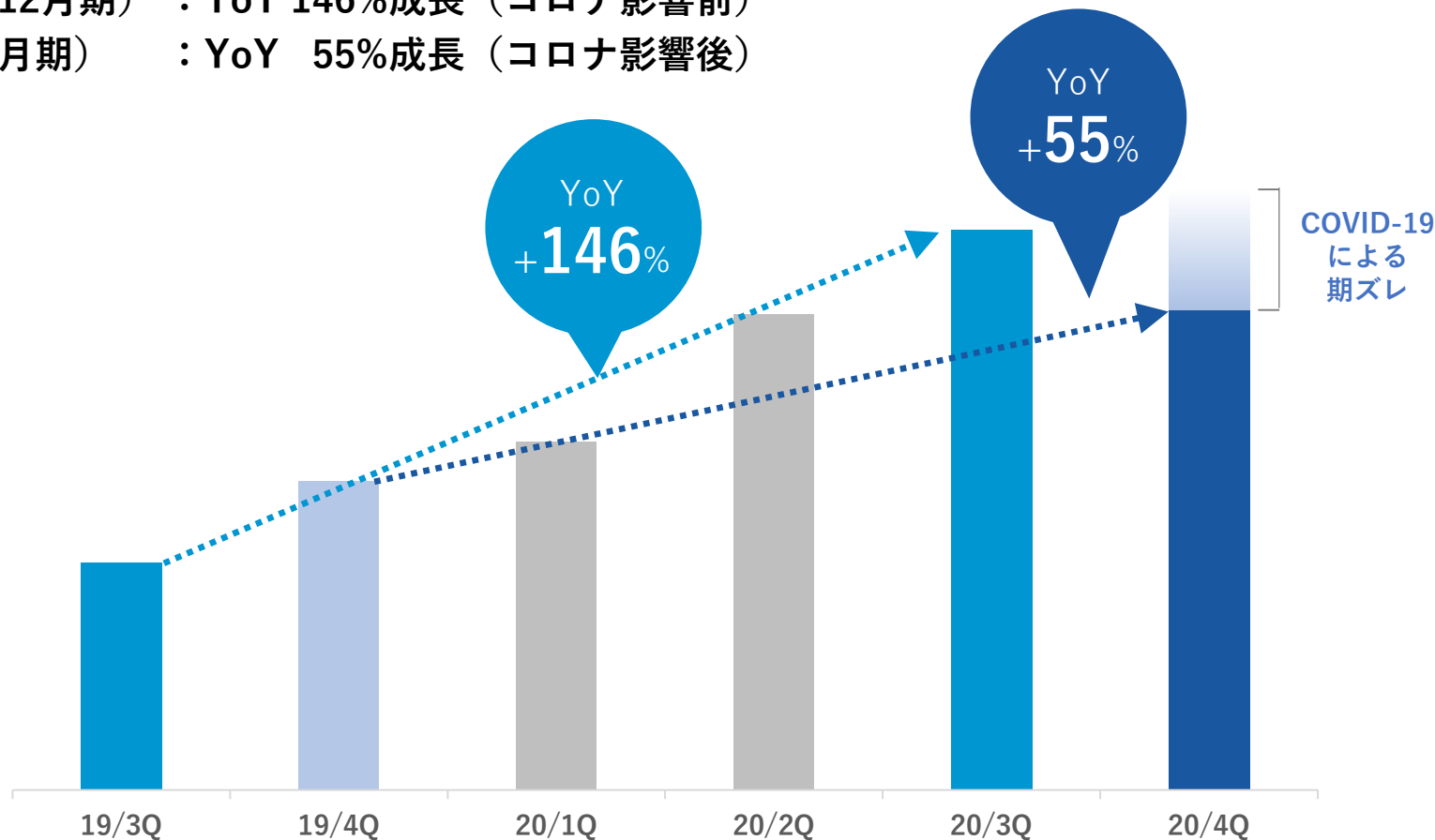
4,500社導入の国産No.1
チャットツール



3-5. 当社のSaaSビジネスの成長

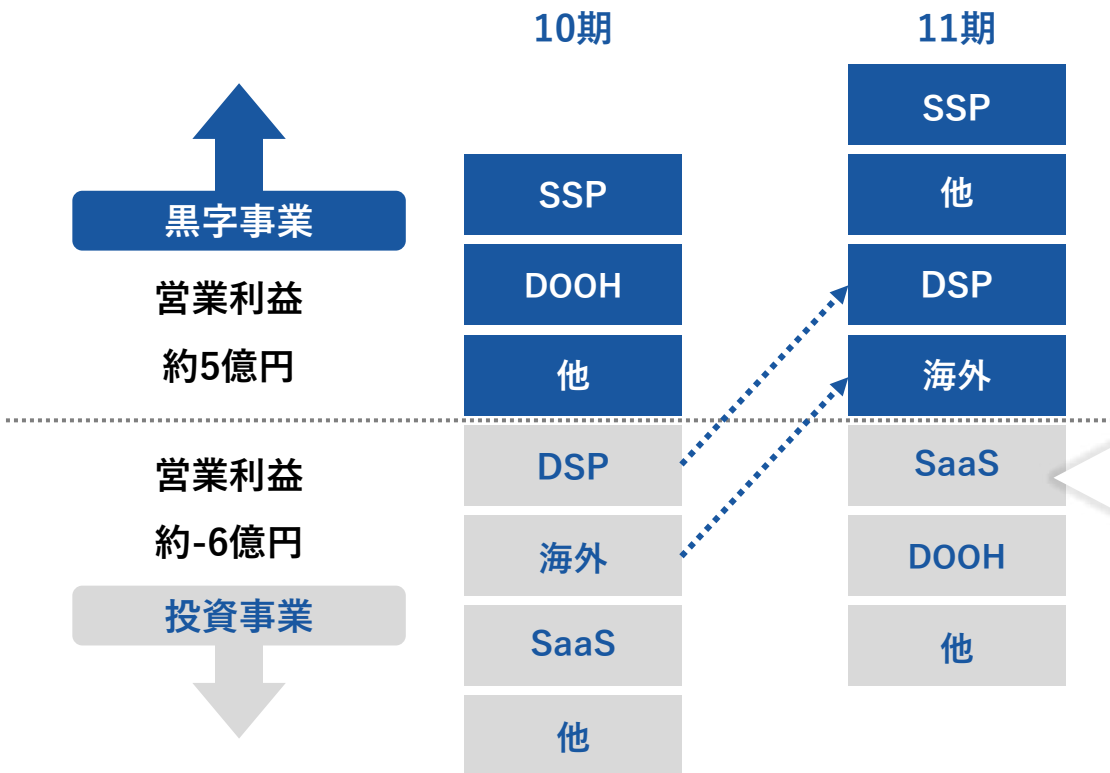
3Q（10-12月期）：YoY 146%成長（コロナ影響前）

4Q（1-3月期）：YoY 55%成長（コロナ影響後）



10期は、黒字事業の営業利益は約5億円、投資事業は約-6億円

11期は、DSPと海外事業の黒字化を想定。DOOHはシェア拡大に向けて一定の投資を実施



代表的SaaS企業

freee(株)

時価総額：2,311億円 前期売上高：45億円

(株)ラクス

時価総額：1,812億円 前期売上高：116億円

サイボウズ(株)

時価総額：1,775億円 前期売上高：134億円

(株)マネーフォワード

時価総額：1,450億円 前期売上高：71億円

Sansan(株)

時価総額：1,440億円 前期売上高：102億円

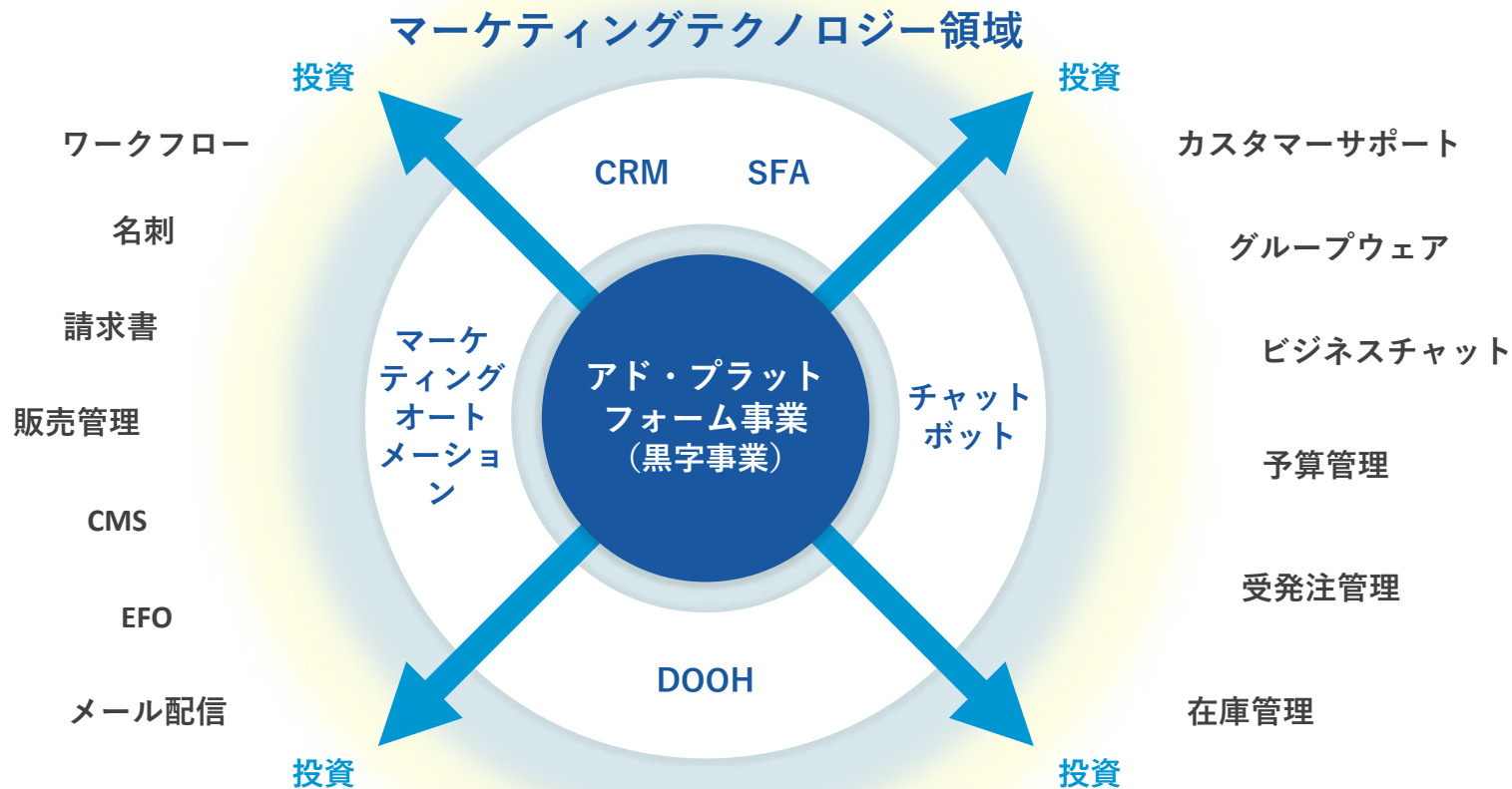
Chatwork(株)

時価総額：646億円 前期売上高：18億円

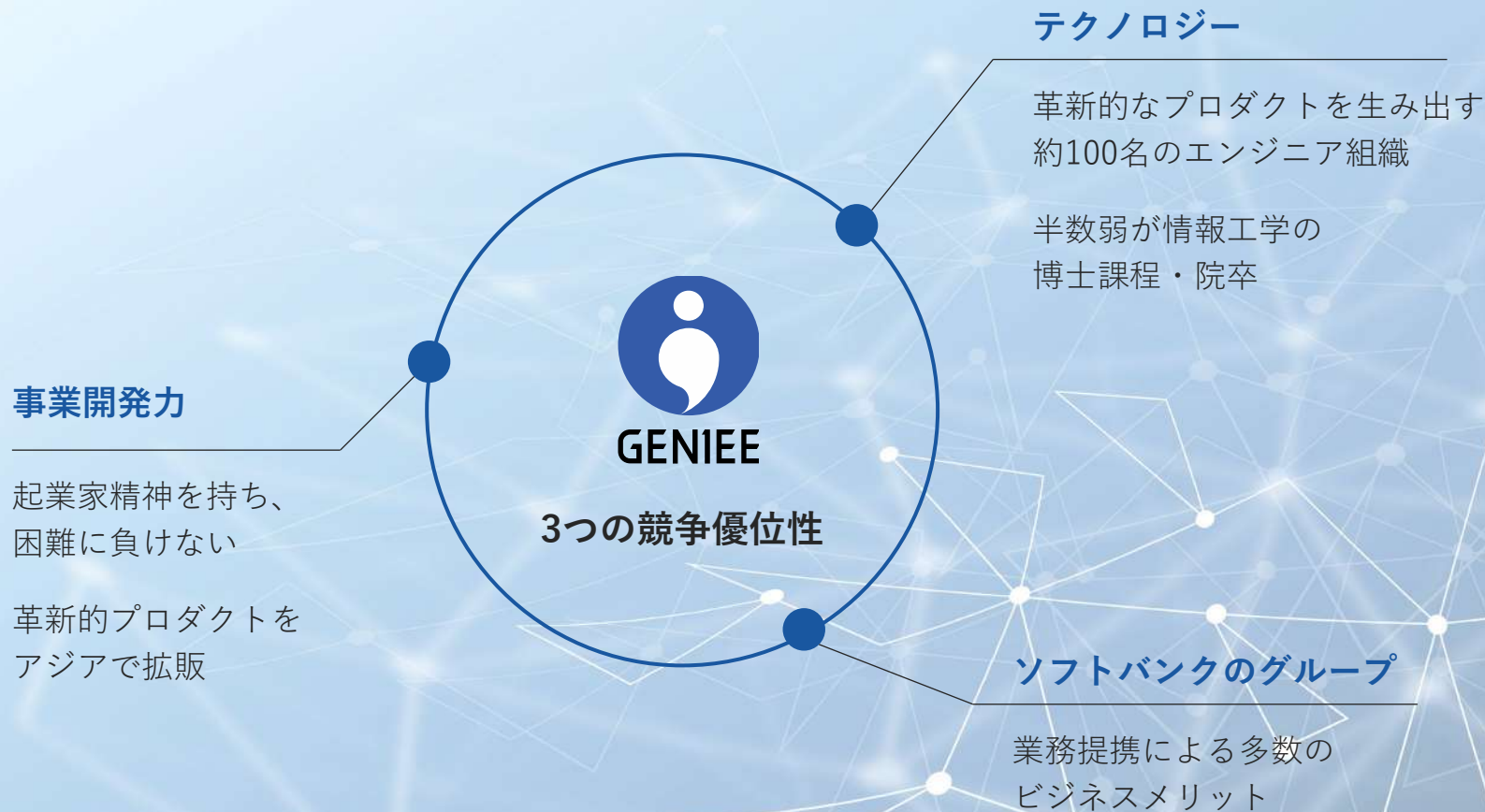
※時価総額は2020/6/19時点

急成長
業界

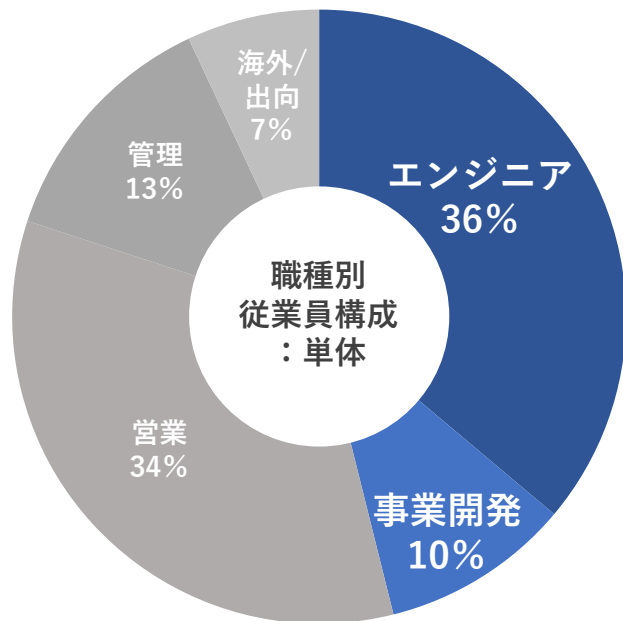
マーケティングテクノロジー領域のリーディングカンパニーとなるべく10年計画を策定
アド・プラットフォーム事業の利益を、成長領域に継続投資



4-3. 事業領域の拡大に寄与する当社の強み



約半数を占める開発人員により、
革新的なプロダクトと事業を開発



(20/3末現在)

1秒間に数十万リクエスト（広告配信注文）を
可能にするデータ処理技術



- 1日のデータ処理量は、約15テラバイトと国内屈指
- 配信システム基盤は、オンプレミス※のサーバーでフルハンドメイド
- シンガポールのデータセンターも利用し、海外配信に対応

※ 情報システムのハードウェアをデータセンター等の設備内に自社で設置・導入し、主体的に管理する運用形態

2014年の資本業務提携以降、 強固な協業体制を構築

大株主の状況

株主名	所有株式数 (株)	持株比率 (%)
工藤 智昭（当社代表取締役社長）	6,541,100	36.42
ソフトバンク株式会社	5,625,000	31.32
廣瀬 寛（当社取締役）	657,700	3.66
楽天証券株式会社	656,600	3.65
トランス・コスモス株式会社	495,000	2.75

安定的な株主構成により、長期的な目線での経営が可能

ソフトバンク(株)との協業により提供する クロスボーダーサービスの強化・拡大



訪日外国人に大手スーパー・ドラッグストア、
消費財メーカー等の広告を配信



※クロスボーダーサービス：インバウンド(訪日外国人)や越境ECの集客を実現するクロスボーダー広告配信サービス

業績予想は非開示。ただし、合理的な算定が可能となった時点で、速やかに開示を予定
2022/3期の計画は、売上高250億円、売上総利益60億円、EBITDA30億円に変更なし

2020/3期

2022/3期（計画）

売上高

143億円

250億円

売上総利益

22億円

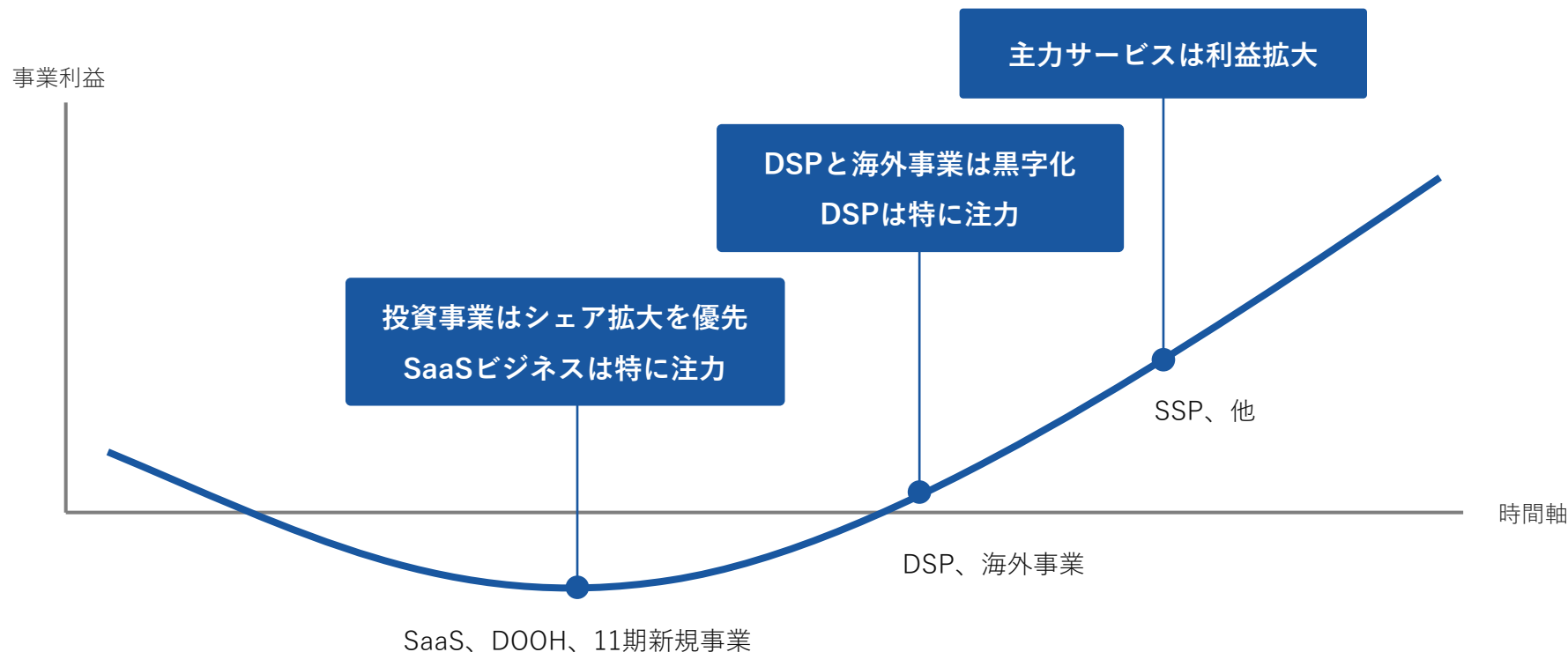
60億円

EBITDA

2.1億円

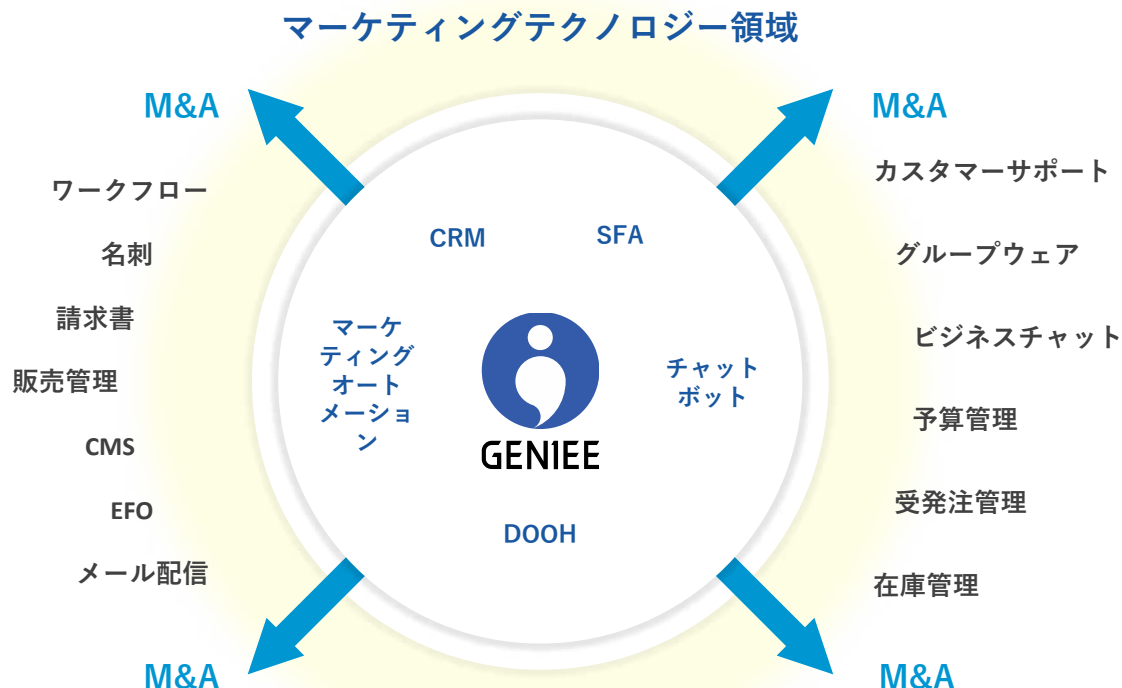
30億円

重点事業をSaaSビジネスとDSPと設定。それぞれ前年比100%増の成長を目指す
黒字事業は利益創出を継続し、投資事業（SaaS、DOOH、11期新規事業）への投資も継続



経済状況の回復、財務体質の改善、過去買収した案件の安定成長が見込めた段階で、次のM&Aを実施

M&Aで、マーケティングテクノロジー領域におけるシェアを早期に拡大する



株価：6月25日時点 678円 ※昨年株主総会時点（2019年6月27日）：584円
業績を着実に回復させ、株価の上昇につなげる



皆様のご期待に応えられるよう、策定した中期経営計画に沿って、経営を推進してまいります。

当社は、リスク（＝通常以上の成長）を取る会社です。

不安な気持ちにさせてしまうことも多い会社ですが、どうか、長期的な目線でのご支援をお願い致します。

ご清聴ありがとうございました。

